

世論に浸透した「悪夢の超特急 リニア中央新幹線」の虚構！？

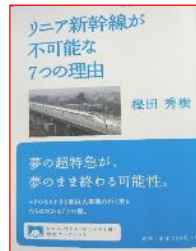
これはある新聞に投稿された一市民の「リニア中央新幹線」に対する率直な意見である。

世論に向けて、いかに「この事業」が無駄であり、かつ馬鹿げたもので、しかもこの世の中にまったく必要のないということがよく理解できる投稿文だ。

リニア必要か 再検証しては

(千葉県流山市)

リニア中央新幹線工事を巡る入札談合事件。氷山の一角でないことを祈りたいが、その保証は全くない。Iもその保証は全くない。Iがさらに進化するれば、面道は安倍政権になって経済成長を牽引する事業の一つとされたが、本当にこんな契機に必要なのか、これを契機に再検証してはどうだろうか。たった一時間ちよつと、東京と大阪を今の新幹線より早く行くだけの鉄道がどうして要るのか。可及



世論にも「リニア事業」が、いかに無駄な投資であるということが浸透してきた証しでもある。投稿者の指摘とおり、JR東海もこの事業を再考すべきである。そもそも採算すら採れないのだから？

昨今、このリニア事業の状況は、はっきり言って失態つづきのうえしかも闇だらけだ。工費自社負担から異例の3兆円財投投入、大手の車両製造からの撤退、静岡県との大井川流量問題、地検特捜部による談合捜査、長野県リニア工事現場で土砂崩壊などなど、これからも際限なく湧いてくるだろう。

つい最近まで、安倍政権肝いりリニア事業の進捗状況を「住民へ丁寧な説明」と絶賛していた社内誌で、是非とも闇を晴らすべきだ。

もしこの闇が葛西名誉会長や政界（安倍首相）人脈なども含めたことが明らかになれば、「森・加計問題」では済まない、この事業の虚構（利権構造）が見えてくるはずだ。

地検特捜部の捜査結果を静観すると共に、労働組合として何としてでもリニア中央新幹線を中止追い込むため、職場内外で全力を尽くそう！

時代錯誤、膨大な無駄遣い！ の事業であるとしか思えない？